



日本学生支援機構
「平成28年度優秀学生顕彰」
1名が奨励賞を受賞

鹿屋体育大学では、同大自転車競技部の山本大喜さん（スポーツ総合課程3年）が独立行政法人日本学生支援機構平成28年度優秀学生顕彰（スポーツ分野）において奨励賞を受賞したことに伴い、1月12日に受賞報告会および表彰状伝達式を実施しました。

この事業は、平成17年から数々の大会で活躍し、第27回全日本学生個人

度から学術、文化、芸術、スポーツ活動等の各分野で優れた業績を挙げた学生（3年生以上の学部学生）を対象に実施されており、スポーツ活動分野で優秀な成績を収めた山本さんが受賞したものです。

山本さんは大学入学時から数々の大会で活躍



山本さん(前列真ん中)を囲んで

の、世界選手権など、クや世界選手権などの、世界で活躍する選手になるため、精進していきたいと思いますのでよろしくお願いします」と、お喜びと今後の受賞の喜びと今後の競技活動に向けた力強い抱負が述べられました。

優秀学生顕彰」 励賞を受賞

度から学術、文化、芸術、スポーツ活動等の各分野で優れた業績を挙げた学生（3年生以上の学部学生）を対象に実施されており、スポーツ活動分野で優秀な成績を収めた山本さんが受賞したものです。

山本さんは大学入学時から数々の大会で活躍し、第27回全日本学生個人と優秀な成績を収めた伝達式では、松下雅雄学長から表彰状が授与され「今回の受賞は、多くの方の協力と、本人の努力の賜物です。2020年の東京オリンピックでオリリンピアンとなつていただくことを期待しています。受賞おめでとうございませう」と祝福の言葉がかけられました。受賞した山本さんからは「鹿屋体育大学という恵まれた環境で練習することによって今回このような賞を受賞することができま

羽ばたけ
大空へ

人ロードタイムトライ
ル自転車競技大会（個
タイムトライアル）で
年に続き優勝を果た
昨年開催された第36回
アジア自転車競技選手権
会（個人タイムトライ

財団
月報

編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827（直）
編集兼発行人 風呂井 敬

サッカー部3選手、 Jリーグ内定記者会見を 実施！



左から青木監督、馬渡さん、福森さん、藤山さん



○馬渡洋樹選手（愛媛FC内定）
出身：福岡県 ポジション：GK
コメント：プロになったことに満足せず、長身を生かしたセービングと前線へのフィードを武器に、1日も早くピッチに立てるようがんばっている。そして長く現役で活躍できる選手になりたい。



○福森健太選手（ギラヴァンツ北九州内定）
出身：東京都 ポジション：DF
コメント：守備だけでなく、攻撃にアクセントをつけられるサイドバックとしてチームに貢献できるようにがんばっていきたい。将来的にはチームを引っ張っているような選手になりたい。



○藤山智史選手（ブラウブリッツ秋田内定）
出身：三重県 ポジション：MF
コメント：運動量と球際の強さが自分の持ち味。まずはできることを精一杯やって、一日も早く試合に出られるように、そして、チームの一員としてより上のカテゴリでプレーできるようがんばっていきたい。

12月22日、鹿屋体育大学サッカー部から日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）のクラブチームへ加入することが内定している3選手の記者会見が、同大学にて行われました。

会見を行ったのは、いづれもスポーツ総合課程4年の馬渡洋樹さん（愛媛FC内定）、福森健太さん（ギラヴァンツ北九州内定）、藤山智史さん（ブラウブリッツ秋田内定）です。3選手からは、入団後の抱負や、家族・指導者・チームメイトなどこれまで支えてくれた周囲の方々への感謝の気持ちなどが述べられました。

また、サッカー部の青木竜監督から3選手の紹介があったほか、各チーム関係者からは3選手を獲得するに至った経緯や今後の期待が語られました。

ました。そして会見の最後には、松下雅雄学長から「3人には、チームメイトから信頼され、ファンの皆さんに感動を与えられる選手になってほしい」との激励の言葉が送られました。

鹿屋体育大学では、競技力向上のための種々の取り組みが実を結び、今回を含め34名のJリーガーが誕生しています。

12月21日から28日、鹿屋市で、韓国体育大学自転車競技部16名が鹿屋体育大学自転車競技部との合同合宿を行いました。本合宿は、両大学の自転車競技部が学生の交流と競技力向上を図ることなどを目的として実施したもので、今回で4回目。韓国体育大学はスポーツエリート育成校で、鹿屋体育大学と国際交流協定を締結しています。

合宿中、韓国体育大学自転車競技部の皆さんは、鹿屋体育大学自転車競技部との合同練習を行ったほか、かのやサイクルフェスティバルや鹿屋市が主催する交流会に参加するなど、充実した時間を過ごしました。

また、12月21日には鹿屋体育大学の松下雅雄学長を表敬訪問し、お互いの大学の現況についての情報交換などを行いました。



自転車競技部
韓国体育大学自転車競技部と
合同合宿を実施！

私が家族と集合住宅に住んでいた時、多くの家族との親交があった。その中にバスケットボールが好きな男の子がいた。彼は小学校でミニバスケット、中学校ではバスケット部のキャプテンを務め、高校はバスケの強豪校に親元を離れてまで進学を希望したが、高校入学志願時の健康診断で、彼の心臓に問題があり激しい運動ができないことが判明した。バスケが大好きで親元を離れてまで高校に進学を目指したところで突きつけられた事実。本人はもちろん、両親のショックも計り知れない。▼しかし、彼は諦めなかった。高校に入学し選手ではなくマネージャーとしてバスケを続けることを選択した。選手目線で選手を叱咤激励し、県内強豪チームの戦歴に貢献した。▼やがて嬉しい知らせが届いた。チームのキャプテンにマネージャーの彼が選ばれたのだ。キャプテンはチームメンバーの推薦で選ばれている。全員一致だったと聞いた。彼のバスケへの想い、チームメンバーへの想い、それを感じ取ったチームメンバーの想い、これらが一つとなり、思いもかけない結果を生んだ。▼パラリンピックではサポートがあれど競技ができる。しかし彼は生命の危険を冒してまで競技をすることはできない。スポーツが好きなのにできない現実を一生涯背負うのである。このような思いをしている人をどのように支えたいのだろうか。(I・N)

わかき



ミズノ地球環境保全活動「Crew21」

健やかなスポーツシーンを
人へ、地球へ

ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて
地球環境保全活動に貢献します



第4回「スポーツ国際開発」国際シンポジウムを開催

鹿屋体育大学では、平成25年度から筑波大学及び日本スポーツ振興センターと連携し、修士課程スポーツ国際開発学共同専攻の設置に向けて取り組んでまいりましたが、昨年4月に、第一期入学生を受け入れるに至りました。

12月11日、これまで取り組んできた成果報告を行うとともに、これからの共同専攻の在り方等を議論するため、立教大学を会場として第4回「スポーツ国際開発」国際シンポジウムを開催しました。

当日は、Roger Levermore氏（The Hong Kong University of Science and Technology）による基調講演、Marianne Meier氏（University of Ben/Terre des Hommes）及びAlexander Cardenas氏（Open University of Catalonia）によるプレゼンテーションが行われました。

さらに、ワークショップとして「Education and Empowerment」、「Conflict and Peacebuilding」、「Mega Sporting Events and Governance」の3グループに分かれてそれぞれ意見交換を行い、有意義なシンポジウムとなりました。



今回の情報交換会は、同窓生と大学関係者との意見交換や情報交換を行うことにより今後の大学運営や在学生、同窓生への支援等に生かすとともに、相互の交流を図ることを目的に同窓会と同大学が連携して開催したもので、同窓生、退職教員、大学関係者など約40名の参加がありました。



濱田同窓会会長挨拶



情報交換会の様子

学部の現状について、そのほか学生の課外活動状況や、スポーツパフォーマンス研究等についての説明がありました。

その後、同窓生との意見交換会が行われ、「大学が同窓会に期待すること、同窓生が大学に期待すること」というテーマのもと、同窓生や教職員がそれぞれの立場や経験から、今後の大学、同窓会の発展につなげるため活発に意見を交わし、有意義な情報交換会となりました。

同窓生と鹿屋体育大学との情報交換会を開催！

就職支援行事が満載

現在の3年次生の就活スケジュールは現4年次生（17卒）と同様のスケジュールで行われることから就職支援会との協力による様々なセミナーや就職支援行事を実施しています。

鹿屋体育大学では、12月10日・11日の2日間、主に3年次生を対象に「第1回就職塾」が開催されました。この就職塾は毎年開催されているもので、就職活動のみならず、卒業後のキャリアについても「気づき」を得る良い機会として、大変好評を得ています。今年度も、キャリアアカウンセラで元就職相談員の斉藤淳郎氏を講師に招き、自己分析、履歴書作成のポイント、個別カウンセリング、面接練習などから、学生自らの経験や強みをもとに具体的に伝えるかといった内容の講座を、グループワーク等を取り入れながら展開しました。受講した学生からは「就活の不安が解消され自信となった」「見方を変えることで、エントリーシートなどに書き、伝えたいことが増えた」といった感想があり、就活本番に向けて自信が付いた表情が見られました。



第1回就職塾



OB・OGへのインタビューワーク

12月15日には就職支援会社「スポナビ」を運営する（株）スポーツフィールドによる、3年次生を対象にした「自己分析講座」が開催されました。体育会系と言われる学生が社会や企業からどのように見られているのかといった現状や、自己分析に必要な自己の経験などを掘り下げていくのかといった講座を、講師の経験談も含めて展開されました。熱く語られる講師の姿に、学生も熱心に耳を傾け、ペン走らせる様子も見受けられました。

また、2年次生を対象にしたキャリアデザインⅢの授業では、1月19日、「多様な働き方、社会でのスポーツとの関わりを考える」をテーマに、OB・OGへのインタビューワークが開講されました。県内外各地で活躍されている3期生から28期生までのOB・OG15名をお招きし、OG15名に沿った質疑応答形式で行われ、「職業選択・就職先選択のきっかけ」、「そのカギはどのようなことを学ぶ機会となりましたか」などを学ぶ機会となりました。

鹿屋体育大学キャリア形成支援室では、学生一人ひとりとつとめ実りある支援となるような行事や授業を計画し、活字から得る情報のみならず、先輩や社会人の生の言葉や学生に伝えていきたいと考えています。

学生も熱心に耳を傾け、ペン走らせる様子も見受けられました。

鹿屋体育大学海洋スポーツセンター協力者会議を開催

12月5日、鹿屋体育大学では、海洋スポーツセンター協力者会議を開催しました。今回は「スタンドアップパドルボード（SUP）」が及ぼす身体への効果・SUP実施者の実態を聞くことをテーマに、国立大隅青少年自然の家をはじめ大隅地域の行政・教育関係機関や県内外の海洋スポーツ関連団体から多数の出席を得て、研究協議が行われました。

会議では、三重県熊野市・鳥取県SUPスパーバイザーで有限会社ARRASOAN代表取締役の河合辰巳氏より「SUPイベントを活用した地域振興の例」と題し、海や湖に面している地方自治体を中心としてSUPのイベントを開催し、地域の活性化につながる活動などについて講演がありました。また、会議の後半では、鹿屋体育大学客員教授の「海野義明氏が「SUPと腰痛の関係」と題して、SUP経験者の腰痛に対する意識調査の発表がなされました。



河合氏による講演



総合討論の様子

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057
鹿屋市今坂町10115番地
TEL (0994) 43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校

大型二種・普通二種・大型一種・中型一種・大型特殊
普通一種・大型二輪・普通二輪・AT限定解除・中型限定解除
鹿屋島県公安委員会指定

すべての消費者のために!!

MOVE
It's your time
寿スポーツ

鹿屋市元1丁目3番5号
TEL 0994-44-2123

バス
R269
ドラッグイレブン

Kubota 農業機械
株式会社
三木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社**レモンガス**かこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

大学入試センター試験を実施

本格的な入試シーズンの幕開けとなる大学入試センター試験が1月14日15日の2日間、全国691の会場で実施されました。今年度の志願者数は昨年より1万2199人多い57万5967人で、内訳は、高等学校等卒業見込者が47万1842人(81.9%)、既卒者が9万9118人(17.2%)、その他、高等学校卒業程度認定試験合格者や高等専門学校修了者などが5007人(0.9%)です。また、セン

ター試験を利用する大学と短期大学は、848校となりました。1日目は、地理歴史、公民、国語、外国語、英語のリスニング、2日目は理科と数学の試験が行われました。500人近くが受験した鹿屋体育大学では、朝早くから受験生が次々と会場に到着し、担任教員の声援を受けながら、緊張した様子で試験室へと入っていきま



アスレティックトレーナーに関する講習会を開催

12月9日、鹿屋体育大学球技体育館において平成28年度アスレティックトレーナーに関する講習会が開催されました。この講習会は、学生の競技力向上と競技活動を支援するアスレティックトレーナーの資質向上を目的として毎年開催しているもので、今回は、講師に兼平智孝氏(Hiroyuki Kanai)が講師を務めました。

この講習会には、学生・教職員併せて約20名が参加し、講習終了後も学生からの質問が次々に寄せられました。また、参加者へのアンケートでも講習内容に対する関心・理解度の高さがうかがわれるなど、短い時間での講習会であったものの、学生にとって非常に有意義な講習会となりました。



兼平氏による講話



実技指導の様子

スポーツパフォーマンス研究棟だより

第3回

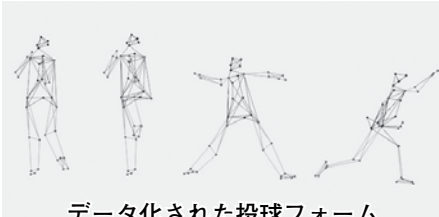
モーションキャプチャシステムを使った測定の紹介(永原隆特任助教)

モーションキャプチャシステムは、専用の装置が発する赤外光の反射を撮影する専用カメラを複数配置したシステムであり、反

射マーカーの三次元位置座標をデジタルデータとして取得します。反射マーカーを選択した体表に貼付し、得られたマーカーの位置座標から関節中心や身体重心位置を推定することで、選手の動作解析を行うことができます。また、得られた座標データとフォースプレートなどで測定した外力(地面反力など)を合わせることで、関節に作用するモーメントの推定などを行うこともできます。



投球フォームをモーションキャプチャで撮影



データ化された投球フォーム

いそごい☆をむを開催

鹿屋体育大学国際交流センターでは10月19日から12月14日までの期間、全8回の日程で「いそごい☆をむ」を開催しました。これは英語に興味のある人、留学の準備をしたい人などが、これまでに学んだ英語を使って自由に英会話を楽しもうという活動で、レベルや年齢、所属を問わず、誰でも参加ができる活動です。平成26年から前期、後期の2回開催しており、今回で6回目となります。



課外活動団体紹介



ウインドサーフィン部

私たちウインドサーフィン部は、現在11名で顧問の榮楽洋光先生・コーチの宮本直和先生の指導のもと、本学施設である海洋スポーツセンターを使用して活動しています。多くの部員が大学から競技を始めるため、スタートラインは同じです。鹿屋の素晴らしい環境のもと、全国の舞台で活躍できるよう日々練習に励んでいます。さて、ウインドサーフィンとはどんなスポーツなのか…。イメージできない人も多いと思います。ウインドサーフィンとはサーフボードに似た板状のボードとセイル(帆)という専用の道具を使用し、セイルに受ける風と波を利用して海面を滑走するマリンスポーツです。ウインドサーフィンは風速が上がるにつれてスピードも増し、時速40kmくらいで走ることができます。また風がない日はパンピングといってセイルを

弱くことにより艇を進めることができます。常に自然と隣り合わせであり、その日その時のコンディションに合わせて自分の技術を磨くという、毎日違う刺激に溢れた奥の深いスポーツです! 私たちの最終目標はインカレで表彰台に上がることです。全国のウインドサーファーを相手にレースで勝利を手にするには、確かな知識、技術、体力が必要です。そのため、週5日練習を行い、疑問があれば榮楽先生や宮本先生にアドバイスをいただいてスキルアップを図っています。また、帆走中の動画を撮影し、さまざまな視点から各選手の帆走をフィードバックすることも行っています。これからも明るく、活発なメンバーで真剣にウインドサーフィンに励んでいきます。鹿屋体育大学ウインドサーフィン部をよろしくお願いいたします!

汲取の御注文
浄化槽の管理

N

水質保全に
全力投球

鹿屋市 許可 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

心豊かな車社会を願う

寿自動車学校

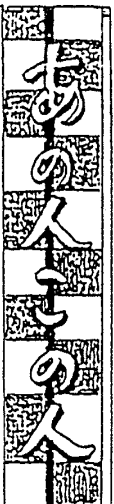
スクールバスを1時間ごとに運行しています

鹿屋市礼元1丁目13-30 電話(0994) 43-2627

大瀧酒造株式会社

常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤

大瀧酒造株式会社 千893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190(代) FAX 0994-40-0950



運動療法も大切

スポーツ生命科学系准教授
イスラム・モハメド・モニル



本学では、主に衛生学・公衆衛生学と環境論に関わる授業を担当致しています。衛生学・公衆衛生学における大きな目的は、疾病予防であり、特に生活習慣病の予防には運動療法が大切です。

私は現在、高齢者の健康づくり、特に転倒予防や日常生活活動量に関する研究を進めております。また、発展途上国における環境問題に関する研究にも取り組んでおります。

鹿屋は自然がすばらしく、雲一つとっても美しい。

硬式野球部 野球教室を開催

鹿屋体育大学硬式野球部は、野球を通して中学生と交流することで、双方の技術と野球に対する意識の向上を図り、大隅地区の野球界の振興に寄与することを目的に、定期的に野球教室を開催しています。

12月11日には、2回目の開催となる小学生対象の学童野球教室が、12月17日、18日には、中学生を対象とした第6回少年野球教室が同大野球場とスポーツパフォーマンス研究棟で行われ、大隅地区の児童92名、生徒132名が参加しました。

コミュニケーションを兼ねたウォーミングアップを行い、心も温めた後、内野手、外野手、バッテリーに分かれて、トレーニング、キャッチボール・バットスイング



指導の様子



SP棟での測定の様子



学童野球教室



少年野球教室

い(How beautiful could be!)。鹿屋に住む機会がなければ、それは人生の大きなミスだったと思います。鹿屋は大変住みやすいところですよ！

◆よろしくお願ひします



教務課入試係 上園 航大

平成28年12月1日付けで新規採用となりました上園航大です。転勤族で地元といえるような所がないのですが、前職で鹿屋市立吾平中学校に赴任

闘いのスケジュール 3月

- 4日・2016年度全日本学生ボードセーリング選手権 大学対抗戦(～6 和歌山/和歌山セーリングセンター)
- 8日・2017年九州学生新進テニストーナメント(～18 福岡/春日公園テニスコート他)
- 12日・第10回明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会(東京/明治神宮外苑)

学内行事 3月

- 9日・大学院修士課程 第2次募集入試
- 10日・大学院博士後期課程 第2次募集入試
- 11日・春期休業(～31日)
- 18日・大学説明会(東京サテライトキャンパス)
- 24日・卒業証書・学位記授与式

闘いの記録 12月

【女子バレーボール】

◆第63回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会(11/28～12/4 東京/大田区総合体育館他)
1位 鹿屋体育大学

【女子バスケットボール】

◆第52回三地区大学バスケットボール選手権大会(12/1～12/4 福岡/福岡大学他)
1位 鹿屋体育大学

【水泳】

◆第22回冬季短水路公認記録会(12/11 福岡/福岡市総合西市民プール)

▽男子

50m自由形	3位	湯之原 孝実
100m自由形	3位	松林 耕一
200m自由形	2位	小林 祐馬
400m自由形	1位	佐貫 省吾
	2位	小林 祐馬
1500m自由形	1位	佐貫 省吾
	2位	小林 祐馬

100m背泳ぎ

1位

藤田 弥平
遠藤 弥平
遠藤 弥平
宮澤 太樹
宮澤 太樹
脇野 充
川合 松林
湯之原 今井
今井 川合
松林 湯之原

200m背泳ぎ

3位

100m平泳ぎ

1位

200m平泳ぎ

1位

200mバタフライ

2位

200mフリーレー

3位

200mメドレーレー

3位

▽女子

50m自由形

1位

竹林 愛花
菅 晴瑠奈
石原 愛由
菅 晴瑠奈
石原 愛由
村中 みいな
村中 みいな
川崎 碧

100m自由形

1位

200m自由形

1位

400m自由形

1位

【剣道】

◆第11回全日本学生剣道オープン大会(12/7～12/8 北海道/千歳市開基記念総合武道館)

▽男子

参段以上の部

1位

深田 望史
鶴浜 貴志

事務局から

ありがとうございます
賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。
心から感謝申し上げます。

《一般》
カイコー(株) 様(三万円)

広告欄の御利用について

本紙各面の広告欄の御利用をお待ちしております。
申し込みは、
電話 0994-46-4827
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団事務局まで、ご連絡願います。

平成28年度 卒業式・修了式のご案内

卒業式・修了式

日時：平成29年3月24日(金) 10時30分～12時00分
会場：鹿屋体育大学水野講堂

卒業生等懇談会

日時：平成29年3月24日(金) 12時20分～13時10分
会場：学生会館学生食堂(鹿屋体育大学内)
主催：国立大学法人鹿屋体育大学
(公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

第7回大学説明会 in 東京サテライトキャンパス開催!

日時	平成29年3月18日(土) 13:30～16:30
場所	筑波大学東京キャンパス文京校舎 337会議室(東京都文京区大塚3-29-1)
申込締切	平成29年3月14日(火)
詳しくは本学Webサイトをご覧ください。 http://www.nifs-k.ac.jp/	
お問合わせ先 国立大学法人 鹿屋体育大学 教務課 入試係 TEL: 0994-46-4869 FAX: 0994-46-2515 E-mail: nyushi@nifs-k.ac.jp	